



# 大会本部を担当して

大会本部総務部長 中村 利光

関ブロユネスコ活動研究会が、十月二十五日(土)に高崎市を会場として、三百名ほどの参加を得て盛大に開催されました。本部や総務として、大会までの関わりを改めて振り返ってみました。

二十五年六月二十日(木)の第一回理事会で、群馬大会の骨子の検討が行われました。これを受け、第一回関ブロユネスコ活動研究会実行委員会(小委員会)が七月四日(木)に、第二回が七月二十三日(火)に開催され、大会の概要や要項等の検討が行われました。この間、各ユ協から実行委員の報告を受け、八月二十三日(金)に第二回理事会・第三回実行委員会が開かれ本格的な取り組みが始まり、第十五回まで深められました。組織は、大会本部と実行委員会が構成されました。本部は会議の開催案内・関係機関への依頼や通知・予算確保等を担当し、実行委員会には四つの委員会が組織され大会実施へ向け具体的な提案が行われていきました。また、事務作業が円滑に進むよう本部の中に総務係が新たに位置づけられました。本部や総務が担当した事務は、次のような内容でした。

- ・実行委員の報告依頼と名簿の作成
- ・実行委員会案内と会場の設営
- ・県教委へ補助金確保の陳情書の提出

- ・群馬県や高崎市への後援申請と報告
- ・協賛金を募る依頼状や手続きの作成
- ・アトラクション関係者へ依頼状の送付
- ・県や富岡製糸場への写真利用許諾申請
- ・分科会発表者への原稿依頼
- ・六十八ユ協へ案内状や申込書等の送付
- ・県教委への補助金交付申請
- ・大会誌に掲載する来賓挨拶の原稿依頼
- ・来賓や招待者への案内状の送付
- ・参加申込書の受付と受付確認書の送付
- ・大会参加者名簿の作成と配付
- ・来賓名簿や招待者名簿の作成と配付
- ・大会配付資料の袋詰め

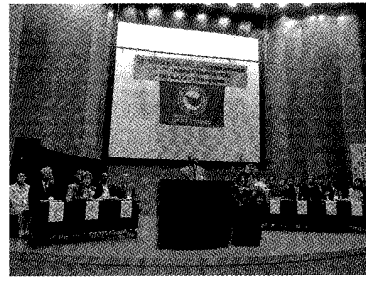
いづれも初めて経験する事務作業で、関係各位にご迷惑をかけてしまうことも多々ありました。そんな中、県ユ連のホームページ作成も会議で提案され苦慮しましたが、松本会計の尽力で立ち上げられ助かりました。貴重な経験をするよい機会となり、作成した資料は次の大会に生かせるよう整理しておくことで、お世話になったお礼したいと思います。

# 関東ブロックユネスコ大会を振り返って

沼田ユネスコ協会会長 式典部長 小林 照夫

沼田の周りの山々が紅葉の錦に染まった十月二十五日は秋晴れのよい天気恵まれ、沼田駅を六時三十六分発高崎行き

の電車に六名で乗車した。車窓から眺める風景は五十五年前の汽車通学の時と余り変わっていないと思いつつ今日一日の流れを考えた。この天気ならば今日の大会は成功すると思った。群馬県ユネスコ連絡協議会は、一丸となって足掛け二年に渡り実行委員会を行ってきた、今年



の関東ブロックユネスコ活動・研究大会をオール群馬で主催した。又富岡製糸場と絹遺産群がユネスコ文化遺産登録で群馬県がクローズアップされた年で時を得た大会でした。

私は式典部長として、受付、開会式、第四分科会を担当、最後の交流会司会等をお世話になり無事に終わる事が出来ました。ホストの高崎ユ協の皆さんを始め実行委員会の皆さんのご協力に感謝と御礼を申し上げます。

成功裡に終わった大会を簡条書きで書いてみました。

- 一、群馬県ユネスコ連絡協議会関口会長を始め事務局スタッフと須田実行委員長はじめとする委員会の連携が上手く連動した。
- 二、過去の大会は、二日に渡り行っていたが一日の開催と高崎の交通の便がよく、この年各地のブロック大会の

- 三、参加者は群馬大会の参加者が一番多かった。
- 三、ホストの高崎ユ協と太田ユ協の協力と、結束と協力体制は称賛します。
- 四、開会式・基調講演が行われた高崎シティホールと、分科会・閉会式・交流会のビューホテルの移動がスムーズに行われた。
- 五、第四分科会は、「ユネスコ活動運営・活性化」のテーマで開催し、高崎ユ協串田氏から二〇一二年群馬県ユ協運営研修会報告が始まり、提案者の草加ユ協土澤氏は衰退きみ草加ユ協の現状と、太田ユ協佐藤氏の中学生英語キャンプの成功例の提案があり、意見交換が活発に行われた。昨年の埼玉大会より充実した分科会となった。
- 六、県ユ協のホームページに大会要項の掲載は効果的だった。

最後に、皆さんにお世話になった御礼と群馬県ユネスコ連絡協議会の発展をご祈念申し上げます。

